



3月度の御書

あぶつぼうごしよ
「阿仏房御書」
ほうとうごしよ
(宝塔御書)

御文

末法に入つて法華經を持つ男女のすがたより外には宝塔なきなり。

(御書新版1732ページ、御書全集1304ページ)

意味

末法に入つて、法華經を持つ男女の姿よりほかには宝塔はないのです。

あなたが宝塔——だれもが宝の存在

みんな、こんにちは！ ボクはライオン博士のキング君。

みんなはキラキラしたのを見ていると、心がワクワクしてこない？ この間、美術館に行ったら、昔のおひめ様がつけていたティアラがキラキラで、時間を忘れて、うっとりしちゃったよ～。

実は、ボクたちが勤行で読んでいる『法華經』の中には、そんなキラキラな塔が出てくる場面もあるんだよ。その名も「宝塔」！ 金や銀などの宝石でかざられた塔で、しかも地球の3分の1もの大きさなんだよ。想像できないくらい大きいよね！

ある時、日蓮大聖人の弟子である阿仏房さんというおじいさんが、「この宝塔というのは、いったい何のことなのですか？」と質問したんだ。それに大聖人がお返事したのが、今回学ぶ御書だよ。

お返事の中で、大聖人は「法華經に出てくる宝塔は、阿仏房さん、あなたのことなのです」と答えたんだ。

阿仏房さんは、妻の千日尼さんといっしょにお手紙を読みながら「えーっ！ ワシらがキラキラの宝塔な

の!？」って、ビックリしただろうね！

大聖人は、お金をたくさん持っているとか、見た目がきれいだということが尊いのではないと教えられているよ。では、どんな人が宝塔なのかな？ それはね、みーんな、宝塔なんだ。どんな人も、かけがえのないひとりひとり、一人一人なんだ。それは、だれにでも、自分や周りの人を幸福にしていける、無限の可能性があるからだよ。

目標に向かってがんばったり、くやしい気持ちや、悲しい気持ちになっても前を向いたり、自分の好きなことを大切にしたり。

そうやって、お題目をあげながら、一步一步、強く優しい自分成長しているボクたち一人一人が、キラキラに輝く宝塔なんだね。なんだか自分が誇らしい気持ちだなあ！

池田先生は「みなさんこそ、21世紀の大舞台で活躍し、22世紀まで照らしていく宝の人です」「みなさんとともに地球の希望は大きく明るく輝きゆくのです」と期待を寄せてくださったよ。

さあ、少年少女部歌「Be Brave! 獅子の心で」の歌詞に「笑顔はみんなのパスポート」とあるように、キラキラな笑顔で、勇気のチャレンジをしていこう！